

[049]ICER Newsletter

<https://hdl.handle.net/2324/4360738>

出版情報 : ICER Newsletter. 49, pp.1-, 2021-02. Innovation Center for Educational Resource,
Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



ICER NEWS LETTER

Innovation Center for Educational Resource



＼ 教育用ゲームを公開しました ＼

教材開発 決断科学大学院プログラム学生との教材開発の取り組み紹介

ー昨年 6 月から九州大学決断科学大学院プログラムの学生・担当教員と連携して教育用ゲームの開発を実施しています。今般、開発したゲームを公開しましたのでご案内いたします。

今回開発した教育用ゲームは、環境問題を扱ったもので、無駄なエネルギー消費を抑える行動の学習と実践により、CO2 削減等の環境保全を図るものです。無駄なエネルギー消費を抑える環境保全行動の学習と実践は、幼少のうちから

身に着けることが重要です。ゲーム性を取り入れた教材の提供により、年少者でも遊びながら環境保全行動を学習できるものと考えられます。決断科学大学院プログラムの学生である Reyhane Morid さん、Nuren Abedin さんが中心にアイデアを

出し、それをシステム情報科学府の学生である山村光くんが 3 次元 CG を活用したウェブ教材として実装しました。英語版と日本語版をそれぞれ公開しています。教育用ゲームを評価するためのアンケートも同時に実施しています。是非、周りのお子さんにもご紹介ください。



教育用ゲームはこちらです

<http://contsrv.icer.kyushu-u.ac.jp/web/ECOSwitch/main.html>

告知 オンラインイベントの Live 配信・収録のご依頼について

本センターでは、全学のオンラインにおける教育活動について Live 配信、収録などのサービスを提供しております。2 月以降、式典、研修、講演、講習会、オープンキャンパスなどのオンラインイベントにて、本センターの支援を必要とされている教職員の皆様におかれましては、お早めにご依頼頂ければ幸いです。

尚、本センターの支援ポリシー、人員、機材の関係から、お伺いした案件をお引き受けできない場合がございますことをご了承ください。皆様からのご依頼をお待ちしております。

対象者

2 月以降オンラインイベントにて本センターの支援を予定されている本学教職員

内容

実施予定のオンラインイベント名、日程、開催場所、必要とされる支援 (Live 配信、収録、動画アップロードなど)
※現段階でわかっている範囲内で構いません

連絡先

メール: video@icer.kyushu-u.ac.jp
(内線 90-6107)



ICER機材紹介 AIカメラのご紹介

ICERにはスタッフが操作する通常のカメラ以外にAIカメラがあります。このAIカメラを使えば講義などで話者が移動する場合でも、自動で追尾して撮影することが可能です。またAIカメラではスタッフが操作する以外に、話者自身がAIカメラにジェスチャー（簡単な手の動き）を伝えることで、撮影のスタートやストップ、ズーム、追尾する被写体の選択／取り消しなどが可能となっています。

撮影した映像はリアルタイムにスマートフォンで確認もできます。スクリーンをタッチすることで構図を簡単に決めることもできます。さらにAIカメラ自体が非常に小さいので話者に近い場所に設置できます。

これにより今まで見たことのないような臨場感のある映像を収録することも可能です。

教材開発センターでは、撮影や公開についての相談を受け付けております。是非お気軽にお問い合わせ下さい。

講義等ビデオのご相談はこちらです

✉ video@icer.kyushu-u.ac.jp

☎ (内線)90-6107



OBSBOT

高さ18cmほどのAIカメラが被写体を自動で追尾します



REPORT 講習会開催報告

online

電子教材著作権講習会

2020年12月25日10:30~12:00にオンライン(MS Teams)において、教材開発センター長が講師となり、全学FD「電子教材著作権講習会」を開催しました。電子教材開発における他人の著作物の利用に関するガイドライン等を周知することにより、ICT活用教育の普及啓発を図るため本講習会を実施しました。約100名の参加申し込みがあり、当日は約70名のご参加がありました。質疑応答では、他人の著作物の教育利用に関して議論が行われました。

により、ICT活用教育の普及啓発を図るため本講習会を実施しました。主な内容は、教材開発センターの主要な活動である「講義等ビデオ教材の撮影・編集・公開」と「3次元CG等高度ICT活用電子副教材の開発」です。学内から約60名の参加申し込みがあり、当日は約40名のご参加がありました。

電子教材開発者向け講習会

2020年12月25日13:30~15:00にオンライン(MS Teams)において、教材開発センターの専任教員が講師となり、全学FD「電子教材開発者向け講習会」を開催しました。教材開発センターの活動を広く周知すること



f <https://www.facebook.com/KyushuUniversityICER>

t https://twitter.com/ICER_KyushuUniv

g <https://www.icer.kyushu-u.ac.jp>

✉ info@icer.kyushu-u.ac.jp

📄 バックナンバーを公開しています
<https://www.icer.kyushu-u.ac.jp/pr>



ICER Innovation Center for
Educational Resource
K Y U S H U U N I V E R S I T Y

編集・発行：九州大学附属図書館付設教材開発センター
Copyright (C) Innovation Center for Educational Resources All rights reserved.